



八軒つうしん



巻頭言

平成二十二年度を

振り返って

会長 菅井 茂



平成二十二年は、経済面だけでなく国防や外交などでも日本はどうかと危惧されることの多い年であったと思います。その中であつてもわが母校には、明るい話題がありました。

四月に菅原校長先生・高橋教頭先生はじめ新しい先生方をお迎えし新体制がスタートしましたし、十月には吹奏楽部と合唱部がともに全国大会に出場し、其々銅賞と銀賞を得るといふ素晴らしい成績を残してくれました。同窓会としては、このような後輩の活躍に誇りを感じた年でした。さて、同窓会活動として皆

様に報告致しますのは、全国大会に出場した吹奏楽部と合唱部に対して、基金の方から三十万円の援助をしたことです。

驚いたことには、吹奏部の生徒全員が合唱部に所属していたのです。同じ生徒たちが吹奏楽と合唱の全国大会に同時に出場するという例は、大会史上殆どなく、朝日新聞の全国版で報道され、「八軒中学校」の名前が大きく載りました。更に感動したことは、吹奏楽の全国大会は東京で、合唱のそれは翌日神戸で行なわれるので、生徒たちは東京での演奏が終わるや否や神戸に移動して合唱の全国大会に出場し、銀賞を得たのです。このような快挙に対して支援しようと考え、代表幹事会で承認していただき、後日学校に贈呈しました。

ところで、今年は四年に一回の総会の年に当たります。総会の開催日は、六月二十七日(日)に決まりました。今年には同窓会創立五十六周年目

にも当たりますので、皆様のお力で楽しい会にして頂きたいと思っております。皆様奮ってご参加ください。

ようと心に決めました。特に、「美しさ」を強調しようと思えました。内面的な「美しさ」に支えられた真の「美しさ」です。

「いあいさつ」

伝統を受け継いで

仙台市立八軒中学校

校長 菅原 敏彦



そんな願いは、少しずつかなえられました。いたる所で、八軒生の美しさを見ることが出来ます。校門をくぐる時、廊下ですれ違う時、さわやかなあいさつをしてくれます。授業で、自分の思いや願いを発表してくれます。文化発表会や合唱祭等の行事では、素晴らしいハーモニーを響かせてくれます。全員が心を一つにして歌う姿に身震いもします。

春、八軒中学校の校門を初めてくぐったとき、校訓を刻んだ石碑を見ました。「美しさたくましさ つつましさ」。私は、何とも言い難い感動を覚えました。シンプルな中に奥深いものがあり、人間がまっとうに生きるために大切にしたいものと実感しました。同時に、校訓をキーワードにし

平成二十二年秋、吹奏楽部と合唱部はダブル全国大会出場を果たしました。東京普門館、兵庫県立文化センターで奏でる八軒生は、実に美しかったです。日常の些細な場面から全国大会まで、八軒生の美しさが見られた一年でした。

(一頁からの続き)

同窓会の皆さまには、多大なるご協力とご支援をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、これまで以上に温かく励ましていただきますことをお願いしまして、あいさついたします。

第五回代表幹事会

総会開催に向けて

検討を開始

第五回代表幹事会は、平成二十二年七月三日、八軒中多目的ホールにおいて開催されました。菅井茂会長をはじめとした同窓会役員、事務局、同窓会参与である八軒中学校の菅原敏彦校長先生、同窓会担当の高山先生のほか、遠藤栄相談役、十三、十四回の学年幹事にご参加いただきました。

新任の菅原校長先生からは、着任の際に校訓に感銘したというお話に始まり、最近の母校の様子をご紹介いただきました。

中総体での活躍の反面、生活指導面でやや心配な面も見受けられるとのことでした。

議事ではまず、村井雅彦事務局長から第四回代表幹事会以降の活動報告、遠藤恭郎会計次長から平成二十一年度の会計報告、八谷和子監査から監査報告がありました。

次に、「生徒の生活環境を考える」委員会の活動状況について、欠席の委員長（本郷誠副会長）に代わり菅原敏之事務局長及び直野まり委員から報告がありました。「私の八軒時代編纂」委員会については、委員長である佐藤徳子副会長から原稿の集約状況のほか、同窓生からの聞き取り、座談会の開催を検討中との説明がありました。

その後、各学年から活動状況を報告していただくとともに、次年度開催予定の総会の時期、会場、会費などについて意見交換が行われました。更に、欠席の学年の近況も紹介されました。会議終了後、会場を河原町の「つきだてや」に移して、懇親会が行われました。

第六回代表幹事会

全国大会出場を祝し

三十万円補助

平成二十二年十二月十一日、八軒中多目的ホールにおいて第六回代表幹事会が開催されました。

菅井会長の挨拶では、吹奏楽部と合唱部の全国大会出場の喜び、同窓会の五十五周年、平成二十三年度の総会開催についてお話がありました。新任の高橋恭教頭長先生からは、吹奏楽部と合唱部の全国大会出場、健全育成ボランティア「八軒中アルカス」の活躍が紹介されました。村井企画次長及び遠藤会計次長からは第五回代表幹事会以降の活動及び会計について、また、本郷、佐藤両副会長からは「生徒の生活環境を考える」委員会と「私の八軒時代編纂」委員会の状況について、それぞれ報告がありました（二委員会の活動の詳細については、別掲をご覧ください）。「八軒つうしん」について、第六号の編集方針案が

承認されました。各学年の近況報告に先立ち、全国大会出場を祝して、遠征費等補助として同窓会から三十万円を贈呈しました。八軒中を代表して高橋教頭先生、吹奏楽部・合唱部顧問の高田志穂先生に受け取っていただきました。



今回の代表幹事会に

新しい顔ぶれの参加があったのは、大変嬉しいことでした。各学年からの近況報告の中で、在学中にブラス

バンドができたという十二回生から、現役生の活躍を喜ぶ発言とともに、在学当時楽器確保に苦労したという思い出話が披露されました。

議事終了後は、会場を河原町の「末広寿司」に移して、恒例の懇親会となりました。

「一委員会の動き」

「生徒の生活環境を
考える」委員会

副会長・委員長
本郷 誠

アルカス活動支援

昨年十二月、学校側・高橋教頭先生、高山先生、同窓会・委員会メンバーとで協議した結果、学校側で取組んでいる「八軒中アルカスの活動支援」、「部活動指導者バンク登録」の二点について協力要請がありました。

「アルカス」とは生徒が主体的に健全育成活動や非行防止活動に参画し、子どもたちの視点から、地域に情報を発信し、よりよい環境づくりを目指して活動する、児童生徒育成健全ボランティアです。平成二十二年七月二十日に発足。現在四十三名の生徒が登録、若林区民まつりでの美化運動、万引き防止対話会、二回の清掃大作戦、防犯キヤンペーン等の活動を行ってきました。



たそうです。委員会としては、三月三日、第三回清掃大作戦(丁R物資部公園)に参加することとしました。当日は

菅井会長、佐藤徳子副会長、委員会メンバーのほか、有志も含めて同窓会から七名が参加し、先生・生徒四十一名と一緒に清掃活動を行いました。

約三〇分間で、公園とそれに隣接する六郷堀沿いの小道は見違えるようにきれいになりました。拾ったゴミは生徒一人ひとりが学校に持ち帰りました。生徒たちの明るい笑顔で、参加した私たちの心も明るく爽やかになりました。

部活動指導者バンク

学校での部活動では、先生方の多忙化や専門外の指導ということもあり、お互いの負担にならない程度に生徒の支援と先生方への協力をしていきます。

部活動指導(協力)可能な方は、必要事項(お名前・連絡先・指導(協力)可能な部活動名)を教頭先生までご連絡ください。電話でも可。

顧問(学校)から要請があれば、双方で具体的協力体制を調整の上指導していただきます。

運動部

- ①陸上部、②水泳部、③男子バスケット部、④女子バスケット部、⑤サッカー部、⑥新体操部、⑦野球部、⑧女子バレー部、⑨男女テニス部、⑩男女卓球部、⑪男女バドミントン部、⑫柔道部、⑬剣道部

文化部

- ⑭吹奏楽・合唱部、⑮マルチメディア部、⑯美術部、⑰家庭部

登録先

八軒中学校 教頭先生

電話 022-223-2336
FAX 022-217-9752



生徒昇降口にある校訓碑

「私の八軒時代」

編纂委員会

副会長・委員長
佐藤 徳子

「私の八軒時代」編纂委員会が発足してから三年が経過しました。まずは「原稿集めから」と勢い込んで各回生に呼びかけましたが、なかなか浸透していかず、難しさを知りました。それでも同期会に働きかけたり、「八軒つうしん」で呼びかけた結果、原稿は少しずつ集まって来ました。現在会員二十数名及び恩師・歴代校長先生方のご協力をいただき、六月総会の創刊号に向けて最後の歩みを進めているところです。現役中学生の合唱部と吹奏楽部が昨秋全国大会にエントリーされ、見事入賞の誉れに輝きました。同窓生としてもこの快挙を誇りに思い、今回生徒たちの喜びの声をお届けします。

(四頁へ続く)

(三頁からの続き)

八軒中学校の卒業生は、開校以来七十四年の年月に旧制十二回、新制六十三回の二万六千名が輩出されています。その同窓生たちが、昨今の混沌としている社会の中で、日々の生活に奮闘していると思います。このような時だからこそ、八軒時代の自分を思い出して元気を出しましょう。各回生が語り継ぐことにより、八軒中学校の歴史が繋がり、同窓生としての絆が確かなものになっていくことでしょう。

皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、今後の活動のご支援よろしくお願ひします。

在校生の活躍ぶり

《運動部》

第五十九回仙台市中学校総合体育大会

① 陸上

- 男子 走り幅跳び 第五位
- 男子 三年百M 第八位
- 走り高跳び 第十二位

女子 共通四種競技 第一位

共通二百M 第五位

走り幅跳び 第十一位

(いずれも県大会出場)

② 新体操

女子 団体 第四位

(県大会出場)

③ 柔道

男子 個人 六十六kg以下級 第二位

個人 八十一kg以下級 第五位

女子 個人 五十二kg以下級 第二位

(いずれも県大会出場)

④ バレーボール

女子 若林区 第二位

⑤ ソフトテニス

男子 個人 若林区 第五位

⑥ 水泳

男子 総合 第四位

四百Mメドレーリレー ベスト八

⑦ 特別支援卓球

男子 個人 六十六kg以下級 第三位

⑧ 水泳

男子 総合 第四位

四百Mメドレーリレー 第六位

百M平泳ぎ 第六位

二百M平泳ぎ 第八位

二百M自由形 第二位

四百M自由形 第二位

千五百M自由形 第七位 千五

女子 総合 第六位 (北

四百Mメドレーリレー

四百Mリレー 第四位

百M平泳ぎ 第四位

二百M平泳ぎ 第五位

(いずれも県大会出場)

⑨ 特別支援卓球

男子 B三ブロック 第三位

B四ブロック 第一位

C二ブロック 第一位

C七ブロック 第三位

第五十九回宮城県総合体育大会

① 柔道

男子 個人 六十六kg以下級 第三位

② 水泳

男子 総合 第四位

四百Mメドレーリレー 第五位

(東北大会出場)

③ 吹奏楽

・全日本吹奏楽コンクール第五十三回宮城県大会予選 仙台

太白・宮城野・若林地区大会

(県大会出場)

金賞

(五頁へ続く)

《文化部》

① 吹奏楽

・全日本吹奏楽コンクール第五十三回宮城県大会予選 仙台
太白・宮城野・若林地区大会

(県大会出場)

(五頁へ続く)

(四頁から続く)

・全日本吹奏楽コンクール第
五十三回宮城県大会 金賞

(東北大会出場)

・全日本吹奏楽コンクール
第五十三回東北大会 金賞

(全国大会出場)

・第五十八回全日本吹奏楽コン
クール 銅賞

・第四十四回宮城県アンサンブ
ルコンテスト仙台若林地区大
会

金賞
金賞
金賞
サキソホン八重奏 金賞
混合十重奏 奨励賞



吹奏楽 賞状、トロフィー

② 合唱

・第七十七回NHK全国学校音
楽コンクール宮城県コンク
ール 金賞

(東北大会出場)

・第七十七回NHK全国学校音
楽コンクール東北ブロックコ
ンクール 銀賞

・宮城県合唱連盟朝日新聞社主
催第六十二回全日本合唱コン
クール宮城県大会 金賞

宮城県合唱連盟理事長賞

(東北大会出場)

・平成二十二年度東北放送主催
こども音楽コンクール宮城地
区大会 優秀賞

・第六十二回全日本合唱コン
クール東北支部大会 金賞
(全国大会出場)

・第六十三回全日本合唱コン
クール全国大会 銀賞

「全国の舞台へ」

中学校生活の三年間、私は吹
奏楽・合唱部に所属し、活動し
てきました。全国大会の舞台に
立つことは、部員全員の大きな
目標で、その目標を達成するた
めに休みの日も毎日練習し、努
力を重ねました。

私は、副部長として部を引っ
張り、仲間を支えられるよう頑
張りました。どのような計画を

立てたら練習の効率が良いか、
曲をつくりあげるには、どんな
練習をすればよいかなど、練習
内容の充実をはかり、より一層
の努力をしました。また、部員
の同年代や先輩の相談にのり、
支えとなるよう頑張りました。

嬉しいときや辛いとき、どんな
ときもそばにいたのは仲間です。
支えているだけでなく、私
自身が仲間に支えられているこ
とに気づけたのも、この部活動
のおかげです。吹奏楽の全国大
会出場が決まったときは、嬉し
さのあまり泣きながら、頑張っ
てきた仲間と喜びを分かち合い
ました。そして自分たちにも自
信がつき、合唱の全国大会出場
も果たすことができました。練
習と大会を通して、仲間への思
いやりと協力、努力を積み重ね
ることの大切さを学ぶことがで
きました。

この三年間は私にとって、と
ても大きな力となり、成長する
ことができた年だったと思いま
す。全国大会に出場できたのも、
顧問の先生をはじめ、応援して
くださった地域の皆様、そして

どんなときも支えてくれた保護
者の方々のおかげです。これか
ら、感謝の気持ちを忘れずに
過ごしていきたいと思えます。
(吹奏楽・合唱部部員)



合唱 賞状、たて

《その他》

・第二十七回宮城県中学校放送
コンテスト 金賞
アナウンス部門 (全国大会出場)

朗読部門

奨励賞

(いずれも全国大会出場)
・第二十七回NHK杯全国中学
校放送コンテスト 銀賞

朗読部門

入選

・少年の主張若林区大会 優秀賞、優良賞

(六頁へ続く)

(五頁からの続き)

・第六十回仙台市中学校英語暗唱大会兼高円宮杯全日本中学校英語弁論大会仙台市予選大会

弁論 優良賞

暗唱 優良賞

・仙台市中学校弁論大会

優良賞

・全日本学校書道連盟主催

第六十二回全国学生書道展

奨励賞

・第五十七回仙台市児童生徒

理科作品展 部長賞 七名

・平成二十二年度宮城県造形

教育作品展 入選 二名

・第六十二回仙台市小中高等

学校児童生徒徒作曲コンクール

入選、佳作

・第五十四回日本学生科学賞

宮城県審査委員会 佳作

《主な学校行事》

・三年修学旅行

東京・横浜方面

五月十三日～十五日

・二年野外活動 秋田・岩手

五月十七日～十九日

・一年校外学習 山形

五月十九日

・陸上カーニバル

五月三十一日

・文化発表会 九月四日

・校内合唱祭(仙台市民会館)

十一月二日

・同窓会入会式 三月十一日

・第六十四回卒業式

三月十二日

新しい仲間を迎えて

平成二十二年三月五日、平成二十一年度(第六十三回)仙台市立八軒中同窓会入会式が行われました。新入会者は男子一六名、女子九六名の計二二二名でした。

入会式では、菅井会長から新入会者である三年生に対して歓迎のメッセージが贈られ、先輩の講話として、第五十七回生の古田一馬さん(東北大学経済学部在学)がお話ししてくださいました。

これまでは、どちらかというと「大」先輩がお話しすることが多かったのですが、大学生で

ある古田さんは「お兄さん」という感じで、中学三年生には、親しみやすかったのではないでしょう。

毎年度、同窓会入会式において各界で活躍する同窓生にお話をお願いしています。「この人がいいのでは」という方がいらっしやいましたら、是非事務局までご推薦ください。



総会のお知らせ

平成二十三年六月二十六日、四年ぶりに八軒中同窓会総会を開催します。

会場は仙台駅近辺のホテル又はこれに準ずる施設ということを考えており、会費は五千円程度と見込んでいます。

四年間の活動報告、決算報告のほか、役員任期、総会開催等に関する会則改正について提案

すること検討を進めています。また、「私の八軒時代」創刊号の配付も予定しています。

今回は第十六～二十一回生が当番となります。現在事務局員として参加している方以外でも、お手伝いいただける該当回生を募集中です。三月十九日午後二時から、八軒中学校多目的ホールにおいて準備委員会が開催され、総会に向けた動きが本格化します。お手伝いいただける方はご参加ください。

会場、会費が決まり次第、八軒中のホームページにも掲載し、広く参加を呼びかけます。多くの同窓生の参加をお待ちしています。

※ 八軒中学校のホームページ
<http://www.sendai-c.ed.jp/~hachiken/>

今年度も集いました(一)

第三回生 (昭和二十五年卒)

平成二十二年十一月十五日、秋保温泉”ホテルきよ水”に泊して同期会を開催しました。喜寿を迎えたこともあり、今回で終了することにしました。

参加人数五十二名。互いに出席できたことを喜び、夜が更けるのも忘れて語り合い、今後の健康を祈りつつ別れを惜しみました。(鈴木 京子)

第十四回生 (昭和三十六年卒)

三六八軒中卒

五十年記念同期会

平成二十二年九月十二・十三日、遠刈田温泉ゆと森倶楽部に於て、四十一名の参加で開催いたしました。

第一回 平成八年九月

(八十二名・恩師二名)

第二回 平成十七年十一月

還暦を祝う会

(六十八名・恩師二名)

第三回 平成十九年十一月

塩原・日光の旅

(二十九名)

今回が第四回になり、初参加の方も三名で大変懐かしく、旧交を温めました。二次会は、カラオケ組とお話組とに分かれ、それぞれ楽しみました。

平成十九年二月発足の関東在住の同期会は、「はっけん会」として何度か開催され、今年一月十六日大相撲観戦を十名の参加で行い、



50年記念同期会

柗席より掛け声を掛けたりして、楽しく観戦、ちゃんこ鍋を食し、楽しい一日を過ごしました。

時には、お花見、忘年会など十数名が集まっています。これからも皆の輪・和が広がりますように。(石井喜代子)

第十八回生 (昭和四十年卒)

劇的な再会から十余年

一九九七年の八軒中創立五十年の名簿作りを機に再会できた私たち十八回生は、五十歳を目前にして学年五六〇名の過半数の消息が得られ、以来一九九八・八、二〇〇三・十、二〇〇八・二と三回の同期会を開いてきました。

第四回の今回は、二〇一〇・五・二十六、榴ヶ岡の仙台サンプラザに五人の恩師をお迎えし、総勢一〇九名で盛大に還暦を祝う会を催すことができました。タイトルのお祝いにふさわしく、同期の医師による「老人としての心構え」の講演やゴスペル、すずめ踊りの披露などもあり、華やかな集いになりました。それにしても小川先生・宍戸先生・伊達先生・佐々木八郎先生・影山先生はとてもお元気で、老壮期を迎える私たちの良きお手本でいらっしやいます。

残念ながら鬼籍に入

られた方、未だ現役でお仕事の方、お孫さんの世話をされている方、定年後の自由を楽しんでいる方と様々ながら、今後も再び連携していけることを確信できた会でした。元応援団のエンルで校歌を斉唱した後、八割の方が二次会参加となりました。

常任幹事三十名という十八回生は、これからも団塊の世代として昭和・平成・と元気に歩いていくことでしょう。

たった一つの残念は、参加者が多く、一枚の写真に入りきらなかったことでした。(三浦 順子)

先生方と一緒に



今年度も集いました(二)

第十三回生(昭和三十五年卒)
十三回生の絆は堅い



固い絆の13回生

二〇一〇年、卒業して半世紀が経過した。他中学校、そして八軒中の卒業生と比べてみると十三回生の同期会、クラス会の開催は活発である。今回は九月二十六、二十七日に、秋保温泉・ホテルニュー水戸屋で七回目の同期会を開催した。例年同様に多くの参加者(七十六名)のもと盛大な会となった。今回は総会、懇親会のほか、趣向を凝らし、三名の方に「いま私が大事にしていること」を紹介しても

らった。

懇親会では名取の日舞・ミスターマリックからレクチャーを受けた本格的なマジック等も披露され、皆な夜の更けるのを忘れ大いに飲み、語らい、楽しんだ。翌日はゴルフ・秋保散策・談話会と充実した二日間を過ごし、次回も元気で再会できるようにと胸に秘め各自帰途についた。
(庄司 茂雄)

※ この時の同期会の二次会の席上で、三年四組のクラス会の話が持ち上がり、十一月に名古屋から再度来仙した女性に合せて、男性十四名、女性六名が集まり、再び二次会まで盛り上がったそうです。

その他の同期会、
クラス会等の開催情報

第六回生(昭和二十八年卒)
同期会開催
平成二十二年十一月
十六〜十七日

秋保温泉・蘭亭
四十名・恩師一名

第七回生(昭和二十九年卒)
同期幹事会開催
平成二十二年七月十五日
二十四名

第十一回生(昭和三十三年卒)
三年四組クラス会開催
平成二十二年十一月
二十八〜二十九日
鳴子温泉・鳴子ホテル
十名

※ 掲載に当たって、執筆者の敬称は略させていただきます。ご了承ください。

編集後記

毎度のことながら、綱渡りの編集作業でした。今年度は同窓会入会式が例年より一週間ほど後の日程となり、余裕があったはずなのに、原稿の仕上がりが直前になってしまいました。この



ため同級会や同期会の様子が伝えられませんでした。申し訳ありません。これに懲りず、今後とも、同窓生の皆様からの情報提供、ご寄稿をよろしくお願いいたします。
次号こそ余裕を持つてとは思いますが、その前に「私の八軒時代」の編集という大仕事が終わっています。頁数が「八軒つうしん」の数倍にはなる見込みなので、ギリギリにならないように、心して取り組みたいと思います。

八軒つうしん第六号
発行日
平成二十三(二〇一一)年
三月十一日発行
発行者 八軒中同窓会事務局
〒九八四-〇八二七
仙台市若林区南小泉八軒
小路九-一
仙台市立八軒中学校気付